

令和 3 年 4 月 2 日

保護者の皆様へ
学生の皆さんへ

東京工業高等専門学校
校長 谷合 俊一
寮務主事 濱住 啓之

「令和 3 年度新型コロナウイルス感染症対応に関する学生寮の特別運営」について

くぬぎだ寮では、令和 2 年度の開寮以来、「新型コロナウイルス感染症対応に関する学生寮の特別運営」を実施して感染防止に努めています。令和 3 年度につきましても特別運営を継続し感染防止に努めてまいります。何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

1. 学生寮の特別運営に関する基本的な考え方

東京工業高等専門学校学生寮においては、令和 2 年 5 月 15 日より新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という。)対策のための特別運営を行ってきたが、令和 3 年 3 月末時点で感染拡大の終息が見込まれないことから、令和 3 年度についても特別運営を行うこととする。

なお、今後の感染症の状況により、本特別運営について、適用期間及び内容を変更する場合がある。

2. 入寮について

- 発熱 (37.5 度以上)、倦怠感、味覚・嗅覚異常等、感染症が疑われる症状が認められる場合は、医療機関の判断を仰ぎ、感染症に罹患していないことを確認し、症状が回復するまで入寮を延期する。
- 寮生が濃厚接触者となった場合は入寮を延期し、自宅等において保健所等が指示する期間、経過観察を行なう。経過観察後、異常がなければ入寮を許可する。
- 寮生が感染者と判定された場合は、入寮を延期して保健所の指示に従う。

3. 開寮後に行う感染予防策

※本校の学生寮 (1~3 寮) は、寮室は 1 人室と 2 人室で構成され、以下の諸室 (トイレ、洗面所、シャワー、ランドリー、補食室、ラウンジ、自習室、談話室、廊下及び階段、玄関ホール) は、棟単位の共用となっている。

食堂棟 (食堂、自習室、浴室、脱衣所、トイレ) は全寮生の共用となっている。

入寮希望者数により、一定数の 2 人室が生じる。

- 寮生は、検温、健康観察、感染症予防策 (手洗い、うがい、手指の消毒、換気、マスク着用等) を励行する。
- 食堂は、自習室との仕切りを外して全体面積を引広げた上で、机 1 卓に対する座席数を減らし、席間の間隔を広くする。また、机上に仕切り版を設置する。
- 食堂の利用は棟単位の交代制とし、同時利用者数を削減する。
- 浴室 (脱衣所を含む) は、同時利用者数に制限を設け、交代で利用する。
- ラウンジ・補食室では必ずマスクを着用すること。
- ラウンジ・補食室での飲食を禁止する。

4. 寮生活における制限事項

- 寮生の点呼を 21 時に実施する。それ以降の外出を禁止する。
- 不要不急の外出を禁止する。
- 寮生は自室で過ごすことを基本とし自室以外の寮生の部屋に立ち入ることを禁止する。
- 他棟や他フロアへの不要な移動を禁止する。
- トイレ、洗面所、シャワー、ランドリー、廊下の使用は通常どおりとする

5. 開寮後、寮生に感染者もしくは濃厚接触者が発生した場合

(1) 寮生に発熱、倦怠感、味覚異常、嗅覚以上等、感染症罹患が疑われる症状がみられる場合

- 当該寮生に自宅待機を指示する。保護者の迎えを必須とする。公共交通機関の利用は不可とする。
- 保護者の迎えまでに一時待機が必要な場合は、1 寮内のゲストルームなどを利用する。
- 帰宅後は必ず医療機関、または保健所の指示を仰ぎ、自宅待機期間が示された場合はこれに従う。
- PCR 検査、または抗原検査を受検することとなった場合は、その旨と検査結果を学校に知らせる。
- 自宅待機期間が示されなかった場合でも、感染症罹患が疑われる症状が改善するまでは、帰寮は認めない。

(2) 寮生が濃厚接触者となった場合

- 当該寮生に自宅待機を指示する。保護者の迎えを必須とする。公共交通機関の利用は不可とする。
- 保護者の迎えまでに一時待機が必要な場合は、1 寮内のゲストルームなどを利用する。
- 帰宅後は、当該学生の居住地域を所管する保健所からの指示に従う。
- PCR 検査、または抗原検査を受検することとなった場合は、その旨と検査結果を学校に知らせる。

(3) 寮生が感染者と判定された場合

- 当該寮生は保健所の指示に従い、自宅待機、入院もしくは隔離施設へ移る。保護者の同行を必須とする。公共交通機関の利用は不可とする。
- 寮を出るまでに一時待機が必要な場合は、1 寮内のゲストルームを利用する。
- 他の寮生に当該寮生の濃厚接触者が生じた場合は(2)と同様に対応する。
- 校長は、所轄の保健所等の指示を仰ぎ、状況に応じて寮内及び学校敷地内の消毒を行う。
- 寮内の消毒を行うこととなった場合、一部寮生を自宅に戻す場合がある。

以上

連絡先：東京高専 寮事務室 E-mail : ryoumu@tokyo-ct.ac.jp